



自衛隊栃木地方協力本部

来て！見て！触って！自衛隊のブースでおしごと体験！
～あらゆる工夫をこらし県内の高校生へ自衛隊をPR！募集班長の奮闘～



暗闇に何が見えるかな？
暗視眼鏡体験をする高校生



自衛隊のお仕事について
熱く話す栃木地本長



自衛隊のお仕事を紹介する
募集班長（古川3陸佐）

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶恒一郎・陸佐）は、6月13日（火）、ライトキューブ宇都宮（宇都宮市）において開催された、株式会社ジンジブが主催する『おしごとフェア』に参加した。本フェアは、県内の高校生に対して出展企業等が仕事内容の説明や、仕事の一部を体験してもらうというもので、募集解禁前の高校生へ職業としての自衛隊の魅力やPRするとともに、実際の仕事の一部を体験してもらい、働く際のイメージアップを図ることができる体験型の説明会である。栃木地本として参加するにあたり、より効果的な仕事体験を実施するため、東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）から人員及び装備品の支援を受け、ブース装飾の予定等して万全の態勢で臨んだ。



防弾チョッキ体験をする高校生



各企業の並ぶブースに迷彩仕様の『異質な空間』を形成中



制服試着をする高校生



各ブースを取材する地元の報道局



試着を楽しむ他ブースの企業説明者

誘っていった。一通り体験を楽しんでもらった後、首を長くして待っていた説明要員の募集班長が、自衛隊の概要を説明した。説明内容にも一般的にはあまり知られていないであろう内容を散りばめ、『自衛隊は宇宙も守っている』、『自衛隊には白バイもある』、『自衛隊にはキャビンアテンダントの業務もある』ことを説明すると、「自衛隊なのに白バイ？」や「え？そんな仕事もあるんですか？」との好反応に募集班長はご満悦な様子であった。開催時間の13時30分から17時までの間、来場者が途絶えることなく、本フェアの総参加生徒数118名中、約4割の44名がブースに会場して自衛隊の仕事に触れ、7月の高校生募集解禁に向けた足がかりを掴んだ。また、高校生のみならず、参加企業の社員、フェアのスタッフも普段見慣れない自衛隊の仕事体験に興味を示し、やや照れながらも制服試着や野外電話機の体験を楽しんでくれた。

栃木地本は「本フェアの参加にあたり、支援していただいた東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）、また、以前に参加経験があり事前にフェアに関する情報提供をいただいた自衛隊宮城地方協力本部、自衛隊千葉地方協力本部に感謝の意を表すとともに、より一層厳しさを増す募集環境を克服するため、今後もオールジャパンで各種活動に臨んでいく」としている。



防弾チョッキ体験をする高校生